

令和元年度 アオコ情報 No. 6

7月9日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度^{※1}は、北浦の武田川沖及び釜谷沖でアオコレベル1^{※2}相当でした。そのほかの地点では、アオコレベル0相当でした。
- 植物プランクトンの増殖に必要な栄養塩は、全調査地点で植物プランクトンの増殖に適した状況でした。
- 来週は最高気温が25℃前後の日が続く予報（気象庁）で、栄養塩が十分に存在することから、植物プランクトンの増殖が可能な環境となりますが、全地点でフィコシアニン濃度がアオコレベル1相当以下であり、天気は曇りや雨の日が続く予報ですので、急激な大発生は起こらない見込みです。

1 湖内のアオコレベル

- 北浦においては、アオコレベル0～1相当（フィコシアニン濃度：23～110 µg/L）でした。
- 西浦においては、全地点でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：6～27 µg/L）でした。

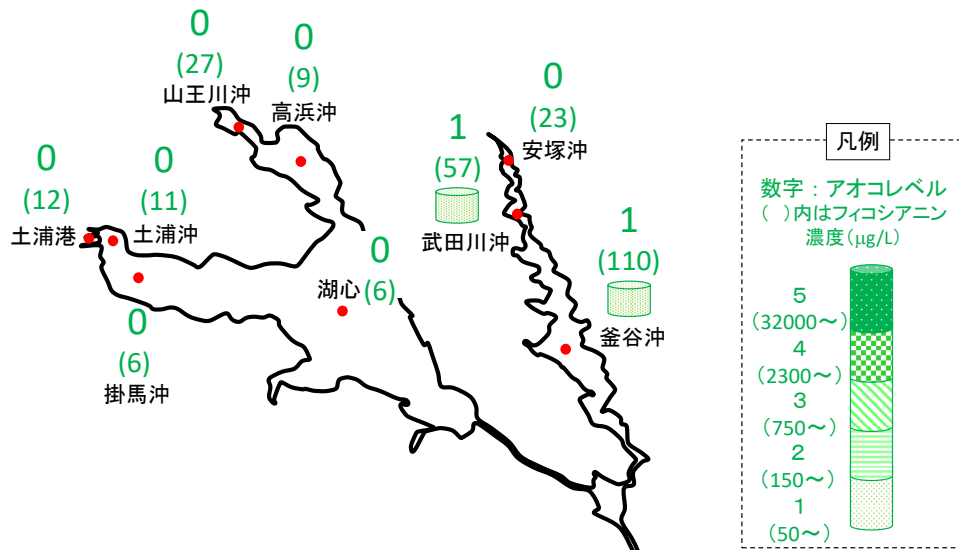


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP：<http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら，2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

2 アオコ発生に影響する項目の湖内状況

- 調査時の水温は 20.2℃～22.8℃でした。
- 栄養塩濃度は、全地点で無機態窒素濃度が 0.1 mg/L 以上、りん酸態りん濃度が 0.01 mg/L 以上でした。
- 気象庁（7月12日17時発表）によると、来週は曇りや雨の日が続く予報で、日照時間としては植物プランクトンの増殖に適していない環境です。一方、気温については、最高気温が 25℃前後の日が続く予報で、植物プランクトンの増殖に適した環境です。

表1 アオコ発生に寄与する水質条件等の状況

		西 浦					北 浦		
		土浦港	土浦沖	掛馬沖	湖心	山王川沖	高浜沖	安塚沖	武田川沖
水 温		B	B	B	B	B	B	B	B
栄 養 塩	無機窒素濃度	A	A	A	A	A	A	A	A
	りん酸態りん濃度	A	A	A	A	A	A	A	A
予 報	日照時間	C							
	気 温	A							

A:発生に適した条件, B:発生が可能な条件, C:発生に適していない条件

(各項目の判定基準及び結果詳細は、別紙を参照)

3 土浦港、武田川沖のフィコシアニン濃度の推移

- 先週と比べて、武田川沖ではフィコシアニン濃度が低下しました。土浦港では、先週と同程度でした。
- 本年度と過去2年間のフィコシアニン濃度を比較すると、武田川沖では過去2年間より低く、土浦港では同程度でした。

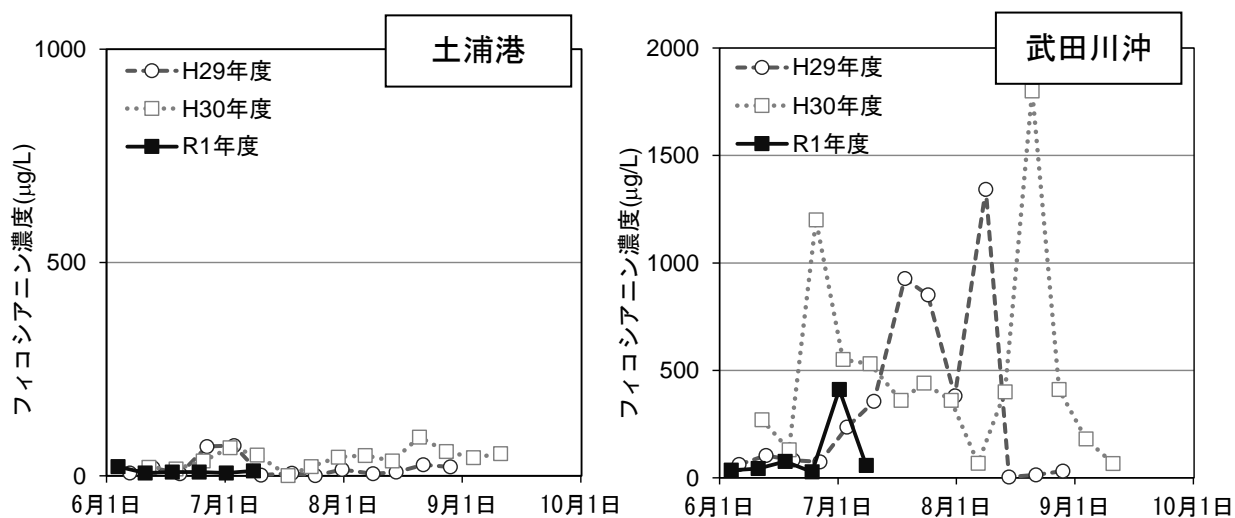


図2 過去2年及び本年度のフィコシアニン濃度の推移

(左：土浦港、右：武田川沖)

(別 紙)

● 各項目の判定基準

【水温】

アオコの原因となる植物プランクトン（ミクロキスティス）の増殖倍率がおおよそ 20℃以上から高まり、25℃以上で約 10 倍に達する（佐々木，1975）ことから、「25℃以上」をA、「20℃以上」をB、「20℃未満」をCとした。

【栄養塩濃度（溶存無機窒素）】

植物プランクトンの栄養源となる溶存無機窒素について、藍藻類の増殖に関する目安が 0.1 mg/L といわれている（Oliver ら，2000）ことから、溶存無機窒素濃度が「0.1 mg/L 以上」をA、「0.1 mg/L 未満」をBとした。なお、本項目の基準については、Cに該当する知見が不十分なため、A、Bの二区分とした。

【栄養塩濃度（りん酸）】

植物プランクトンの栄養源となるりん酸について、藍藻類の増殖に関する目安が 0.01mg/L といわれている（Oliver ら，2000）ことから、PO₄-P 濃度が「0.01mg/L 以上」をA、「0.01mg/L 未満」をBとした。なお、本項目の基準については、Cに該当する知見が不十分なため、A、Bの二区分とした。

【日照時間】

気象庁の天気予報（茨城県）において、1週間「晴れが続く」場合をA、「晴れと曇りが混在している」場合をB、「曇りや雨が続く」場合をCとした。

【最高気温】

過去の最高気温と水温の関係は、水温が 25℃、20℃になったときの一週間の最高気温の平均がそれぞれ 25℃、18℃だったので、一週間の最高気温の平均値が「25℃以上」をA、「18℃以上」をB、「18℃未満」をCとした。

【アオコレベル】

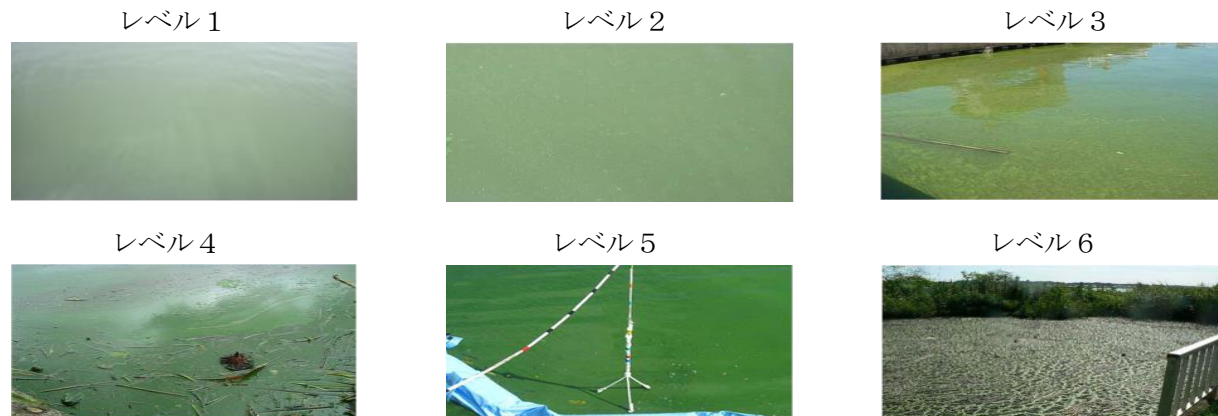


図3 アオコレベル

● 調査結果の詳細

表 2 調査結果

	西 浦						北 浦		
	土浦港	土浦沖	掛馬沖	湖 心	山王川沖	高浜沖	安塚沖	武田川沖	釜谷沖
採水時刻	7月9日 12:29	7月9日 12:11	7月9日 11:55	7月9日 10:20	7月9日 11:01	7月9日 10:47	7月9日 8:22	7月9日 8:38	7月9日 9:03
水温(°C)	22.8	21.8	21.6	21.2	22.8	21.3	20.2	20.7	21.0
フィコシアニン(μg/L)	12	11	6	6	27	9	23	57	110
クロロフィルa(μg/L)	130	65	55	46	62	64	39	40	59
TN(mg/L)	2.3	1.2	0.70	0.64	1.3	0.97	2.3	2.0	1.0
TP(mg/L)	0.14	0.14	0.12	0.13	0.17	0.19	0.15	0.16	0.10
DIN(mg/L)	1.2	0.65	0.14	0.20	0.68	0.41	1.7	1.2	0.24
NO ₃ -N(mg/L)	0.87	0.54	0.07	0.11	0.35	0.21	1.6	0.99	0.08
NO ₂ -N(mg/L)	0.05	0.02	<0.02	<0.02	0.04	0.03	0.04	0.16	0.04
NH ₄ -N(mg/L)	0.28	0.09	0.05	0.07	0.28	0.16	0.07	0.13	0.11
PO ₄ -P(mg/L)	0.01	0.01	0.01	0.03	0.02	0.04	0.03	0.03	0.03